

## 文部科学省委託事業「国際交流事業」

# 「ヒゴタイ高校生体験交流事業」

【主 催】 国立阿蘇青少年交流の家

【協賛・後援】 エムエフエス株式会社 熊本大学教育学部

【期 間】 平成25年10月17日(木)～26日(土) 9泊10日

【実施場所】 国立阿蘇青少年交流の家, 外

【参 加 者】 タイ高校生15名 引率者2名

日本高校生15名〈熊本県立熊本高校ボランティアサークル〉

【企画推進委員会委員】

熊本市国際交流振興事業団

事務局長 八木 浩光 氏

熊本大学教育学部

准教授 松永 拓己 氏

阿蘇火山博物館

館長 池辺伸一郎 氏

熊本県立阿蘇中央高等学校阿蘇校舎

校長 山下 照喜 氏

熊本県立阿蘇中央高等学校清峰校舎

副校長 木庭 敬勝 氏

熊本県立阿蘇中央高等学校清峰校舎

PTA会長 家入 正雄 氏

【講 師】 阿蘇火山博物館

玉置 久弥 氏

九州バイオマスフォーラム

宮野ひろみ 氏

紙すきボランティア

松本以智子 氏

紙すきボランティア

時田 道子 氏

紙すきボランティア

中坊 雅俊 氏

紙すきボランティア

下田 智子 氏

紙すきボランティア

鷺崎 光子 氏

【協力団体】 ホストファミリー 15組, 熊本市国際交流振興事業団,

熊本大学教育学部美術科松永研究室, 阿蘇市, 阿蘇神社, 熊本日日新聞社

阿蘇火山博物館, 阿蘇ジオパーク推進協議会, 野の花の宿「阿蘇の四季」

阿蘇中央高等学校阿蘇校舎, 阿蘇中央高等学校清峰校舎, 熊本高等学校

鹿本農業高等学校郷土芸能伝承部, 秀岳館高等学校和太鼓部

サントリー九州熊本工場

## 1 趣 旨

東アジアを中心とした海外の青少年を招き、青少年教育施設を中心に地域の関係機関と連携し、地域の特性をいかした自然体験・文化体験等の機会を提供することにより、日本に対する理解の増進を図る。また、招いた青少年との交流をとおして、日本の青少年の国際的視野を醸成し、東アジアの中核を担う次世代のリーダーを養成する。

## 2 目 標

- (1) タイ国の青少年の日本に対する理解を増進する。
- (2) 日本の青少年の国際的視野を醸成し、次世代リーダーを養成する。

### 3 事業展開

#### (1) 研修プログラム

##### ● 1 日目：10月17日(木)

|      |      |                               |                              |             |                            |                     |                      |       |       |       |
|------|------|-------------------------------|------------------------------|-------------|----------------------------|---------------------|----------------------|-------|-------|-------|
| 6:30 | 8:00 | 9:00                          | 12:45                        | 14:00       | 15:00                      | 17:00               | 18:30                | 20:00 | 21:30 |       |
|      |      | 9:15 福岡空港着<br>バス移動<br>福岡空港～阿蘇 | ★歴史・文化体験<br>日本食体験<br>(阿蘇の四季) | 阿蘇市<br>表敬訪問 | ★文化・自然体験<br>阿蘇神社見学<br>水基巡り | オリエンテー<br>ション<br>休憩 | ウェルカム<br>夕食<br>パーティー | 入浴    | 就寝準備  | 交通の取泊 |

##### ● 2 日目：10月18日(金)

|          |                  |                           |           |       |                            |                                       |       |                 |
|----------|------------------|---------------------------|-----------|-------|----------------------------|---------------------------------------|-------|-----------------|
| 6:30     | 7:00             | 9:00                      | 12:00     | 13:00 | 14:00                      | 17:00                                 | 22:00 |                 |
| 起床<br>洗面 | つどい<br>朝食<br>身支度 | ★自然体験<br>阿蘇火山環境学習<br>火山見学 | 昼食<br>草千里 | 移動    | ★自然体験<br>阿蘇草葎環境学習<br>紙すき体験 | ★ホームステイ体験<br>ホームステイ対面式<br>ホームステイプログラム |       | ホーム<br>ステイ<br>泊 |

##### ● 3 日目：10月19日(土)

|      |      |       |       |       |                          |                 |
|------|------|-------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| 6:30 | 9:00 | 12:00 | 15:00 | 18:00 | 22:00                    |                 |
|      |      |       |       |       | ★ホームステイ体験<br>ホームステイプログラム | ホーム<br>ステイ<br>泊 |

##### ● 4 日目：10月20日(日)

|      |       |                          |       |       |            |                       |                                   |       |           |
|------|-------|--------------------------|-------|-------|------------|-----------------------|-----------------------------------|-------|-----------|
| 6:30 | 11:00 | 12:00                    | 13:30 | 15:00 | 17:30      | 19:00                 | 20:00                             | 21:30 |           |
|      |       | ★ホームステイ体験<br>ホームステイプログラム |       |       | 荷物の<br>整理等 | つどい・入浴・<br>夕食 (バイキング) | タイ学生<br>(報告会準備)<br>スタッフ<br>(評価会議) | 就寝準備  | 交通の<br>家泊 |

##### ● 5 日目：10月21日(月)

|                 |                                                                          |                            |       |       |           |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------|-------|-----------|
| 6:30            | 9:00                                                                     | 17:00                      | 20:00 | 21:30 |           |
| 起床・洗面<br>身支度・登校 | ★学校生活体験<br>スポーツ体験・授業体験など<br>(阿蘇中央高等学校)<br>【午前：阿蘇校舎 午後：清峰校舎】<br>※ 昼食：調理実習 | 移動・休憩<br>入浴・<br>夕食 (バイキング) | 報告会準備 | 就寝準備  | 交通の<br>家泊 |

##### ● 6 日目：10月22日(火)

|          |                  |                                  |                                                      |       |                   |                |       |           |       |       |
|----------|------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|-------|-------------------|----------------|-------|-----------|-------|-------|
| 6:30     | 7:00             | 8:00                             | 9:00                                                 | 11:00 | 12:00             | 13:30          | 16:00 | 17:30     | 20:00 | 21:30 |
| 起床<br>洗面 | つどい<br>朝食<br>身支度 | ★自然体験<br>(ジオツアーリズム)<br>阿蘇火山博物館見学 | ★交流体験<br>熊本高校<br>フィールドワーク (江津湖)<br>意見交換会<br>※ 昼食：お弁当 | 移動    | 入浴・<br>夕食 (バイキング) | 報告会準備・<br>自由活動 | 就寝準備  | 交流の<br>家泊 |       |       |

##### ● 7 日目：10月23日(水)

|          |                  |                                             |                   |       |                     |                                   |       |           |       |  |
|----------|------------------|---------------------------------------------|-------------------|-------|---------------------|-----------------------------------|-------|-----------|-------|--|
| 6:30     | 7:00             | 9:00                                        | 12:00             | 13:00 | 14:00               | 16:00                             | 17:30 | 20:00     | 21:30 |  |
| 起床<br>洗面 | つどい<br>朝食<br>身支度 | ★文化体験（産業学習）<br>（工場見学）<br>サントリー工場<br>※ 昼食：外食 | ★歴史・文化体験<br>熊本城見学 | 移動    | 夕食<br>（バイキング）<br>休憩 | タイ学生<br>（報告会準備）<br>スタッフ<br>（評価会議） | 就寝準備  | 交流の<br>家泊 |       |  |

##### ● 8 日目：10月24日(木)

|          |           |      |                                   |            |                       |       |                     |                                 |       |       |           |
|----------|-----------|------|-----------------------------------|------------|-----------------------|-------|---------------------|---------------------------------|-------|-------|-----------|
| 6:30     | 7:00      | 8:30 | 10:00                             | 13:30      | 14:30                 | 16:00 | 17:30               | 19:00                           | 20:30 | 21:30 |           |
| 起床<br>洗面 | 朝食<br>身支度 | 移動   | ★歴史・文化体験・墨絵体験<br>(うちわ絵入れ、大型墨絵づくり) | 熊本大学<br>学食 | ★歴史・文化体<br>験<br>水前寺公園 | 移動    | 夕食<br>(バイキング)<br>休憩 | 体験発表会<br>ホストファミ<br>リーとの<br>お別れ会 | 入浴    | 就寝準備  | 交通の<br>家泊 |

● 9日目：10月25日(金)

| 6:30     | 7:00      | 8:30   | 10:00   | 12:00      | 13:00         | 15:00 | 16:00 | 18:00            | 19:30           | 21:00 |       |
|----------|-----------|--------|---------|------------|---------------|-------|-------|------------------|-----------------|-------|-------|
| 起床<br>洗面 | 朝食<br>身支度 | 職員との別れ | 夜須高原へ移動 | 昼食<br>(休憩) | 筑紫野<br>イオンモール | 移動    | 自由時間  | 事業評価会<br>(夜須と合同) | さよなら夕食<br>パーティー | 就寝準備  | 夜須高原泊 |

● 10日目：10月26日(土)

| 6:30     | 7:00               | 8:00              | 9:00      | 9:40                        |  |
|----------|--------------------|-------------------|-----------|-----------------------------|--|
| 起床<br>洗面 | 朝食<br>身支度<br>荷物の整理 | 移動<br>夜須高原<br>→空港 | 出国<br>手続き | 福岡空港発<br>バンコク行き<br>(11:45頃) |  |

(2) 目標達成のための工夫

① 阿蘇・熊本の特性を生かし、関係機関等と連携したプログラムの開発

ア 学校生活体験

地元の阿蘇中央高校阿蘇校舎と清峰校舎の協力を得て、実施した。午前中は阿蘇校舎において生け花体験と郷土調理実習を体験し、午後は清峰校舎において草原再生プロジェクトの取り組みについて学習し、乗馬体験を行うなど、それぞれの学校の特色を生かしたプログラムを計画して頂いた。



イ ホームステイ体験

阿蘇市内の15組のホストファミリーの協力を得て、2泊3日のホームステイ体験を実施した。このホームステイ体験をととして、タイの高校生は日本の家族の温かさを実感するとともに、お風呂の使い方やお箸の使い方、日本のマナーなど日本の生活様式や習慣などを多く学ぶことができていた。また、ホームステイ先においてタイで学んできた日本語を使うことにより、今の自分の日本語で十分意思疎通が図られるかどうかを確認することができた。

中には、ホストファミリーへのお礼の気持ちを表すために、タイから食材を持ってきて、トムヤムクンなどのタイ料理を作った高校生も見られた。

ウ 文化体験

料亭「阿蘇の四季」における日本食体験や熊本城見学、熊本大学教育学部松永先生のご指導による墨絵体験を実施した。墨絵体験では、教えていただいた様々な技法を使いながら、うちに絵を描いたり、参加者全員で大型墨絵(「熊本城を囲む1,000本の花」)を作成したりした。

また、環境問題に積極的に取り組んでいる「サントリー九州熊本工場」で産業学習を行った。この工場は水資源の保護のために植林をしたり、数百種に及ぶゴミの分別をしたりするなど環境保全活動に真剣に取り組んでおり、タイの生徒は、工場の見学をととして自国の環境問題について考えることができた。



阿蘇神社見学



墨絵体験

## エ 自然体験（環境学習）

「環境の阿蘇」と言われる阿蘇の地域性を生かした阿蘇自然環境学習を実施した。

火山環境学習では、阿蘇火山博物館学芸員の玉置氏を講師に、阿蘇火山博物館内の展示品等について説明を聞いたり、中岳火口から草千里をハイキングしながら、世界に誇る阿蘇のカルデラ等について学んだりした。

草原環境学習では、本施設の職員から阿蘇の草原再生についての取組を紙芝居を見ながら聞き、その後、九州バイオマスフォーラムの方々に、阿蘇のすすき等を使った紙すきの仕方についてご指導をいただき、個々の発想を生かしながら思い思いに作品づくりに取り組んだ。



ハイキング（火口～草千里）



紙すき体験

## オ 交流体験

熊本県立熊本高校のボランティアサークルの生徒が企画立案し、江津湖の屋形船の船上で環境問題について意見交換会を行った。互いに自分たちの思いを伝えようと、簡単な言葉に置き換えたり、英語を交えたりするなど、言葉の壁を感じつつも、一生懸命意思疎通を図ろうとしていた。

交流後に行ったアンケートを見ると、意見交換をとおして、自分のコミュニケーション力がたらないと実感し、もっと英語の力を高めたいと感じている生徒や自分の住む環境の良さに気付いたという生徒がいた。

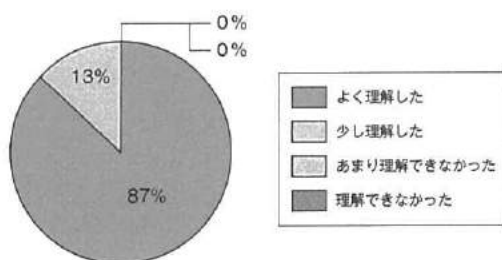
## 4 結果

アンケートの結果は次のとおりである。〈タイの高校生へのアンケート〉

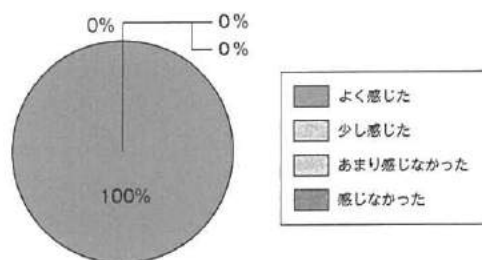
### (1) タイ高校生の意識の変容【タイの高校生15名（男5名 女10名）】

#### ① 阿蘇オリジナルのアンケート結果

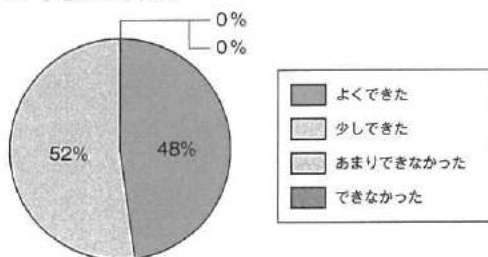
ホームステイ体験をととして、日本の生活様式や生活習慣について理解することができましたか。



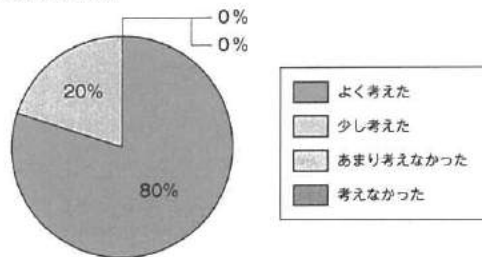
水基めぐりや紙すき体験、中岳火口見学などをととして、熊本の自然のすばらしさを感じましたか。



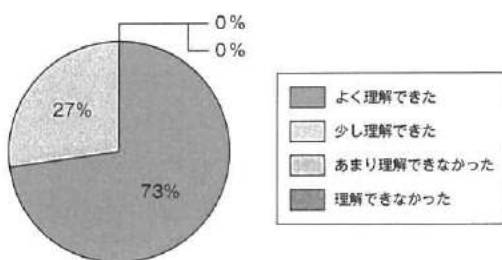
阿蘇中央高校の学校体験をととして、日本の高校の様子を理解したり、日本の高校生と交流を深めたりすることができましたか。



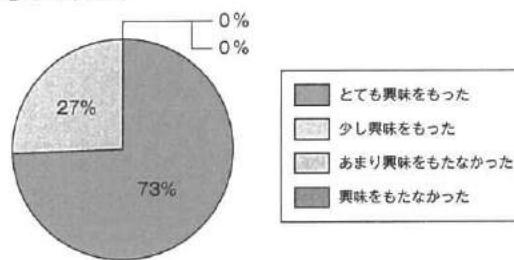
熊本の高校生との環境問題に関する意見交換や江津湖での学習をととして、タイ国の環境問題について深く考えましたか。



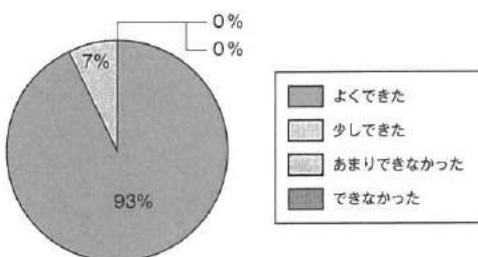
熊本の工場見学をととして、日本の企業の環境問題に対する取組が理解できましたか。



阿蘇神社や熊本城などを見学したり、熊本大学で墨絵体験をしたりしたこと、日本の歴史や文化に興味をもちましたか。



日本での9泊10日間、自分から進んで日本語を話そうとしたり、日本語を理解しようとしたか。



② 文科省によるアンケート結果（記述式のみ）

【Q1】 将来、今回の交流体験をどのように生かしていきたいと思いますか。

- 今回の交流体験に参加したことで、日本語についてもっと勉強したいです。
- 日本人はよく時間を守ると思います。ゴミも分別しなければなりません。
- 将来、日本語の通訳になりたいです。そして、また日本へ来たいです。
- 私は日本語がもっと上手になりたい。
- 私はガイドになりたい。そして、日本人のように時間をきちんと守りたいです。
- 日本の大学の試験を受けたい。
- 日本の留学生になりたい。
- 声優になりたい。
- 日本語の教師になりたい。
- 日本に来て学んだことをタイの子どもたちに教えたい。
- 翻訳に活かしたい。
- 日本人と一緒に働きたい。
- 和食を生かしたペーカリーシェフになりたい。

【Q2】 Q1について、将来に生かすには、具体的にどのような行動をとるべきだと考えますか。

- よい大学に入って、日本語をしっかり勉強します。
- 家族や友だちに、今回の交流体験を伝えます。
- 入りたい日本の大学を探す。
- 料理について勉強します。
- 日本人の友だちを作ります。
- 日本の会社で働く。
- 日本の大学生になる。

【Q3】 その他自由記述

- 熊本大好き。国立阿蘇青少年交流の家みなさんは、みんな温かい人で、優しい人です。また、会いましょう。
- いろいろな経験ができ、とても感動しました。どうもありがとうございました。
- 国立阿蘇青少年交流の家で、たくさんいい思い出があります。先生方はとてもやさしいです。きっとわすれません。本当にありがとうございました。帰りたくないです。
- 本当にありがとうございました。今回の交流は私のためになりました。とても幸せです。これから、私はもっと日本語を練習します。機会があれば、日本へ来ます。
- いつか必ず熊本に遊びに来ます。水前寺公園と熊本城は、とてもすごいと思います。
- 阿蘇はとてもいいです。みんな親切で温かいです。私は幸せです。9日間、私はとても楽しかったです。日本料理はおいしかったです。活動もおもしろかったです。
- ホストファミリーが大好きです。



### ③ 考 察（タイの高校生）

タイの高校生の日本に対する理解増進を図るために、今回の体験交流事業では、ホームステイ体験、学校生活体験、文化体験、交流体験、自然体験を実施した。

アンケート結果（円グラフ）を見ると、ホームステイ体験をとおして、日本の生活様式や生活習慣が理解できたと回答した生徒の割合が87%を示しており、タイの高校生が各家庭にホームステイしたことによって、日本の生活様式や生活習慣に対する理解が深まったものと考えられる。また、自然体験として行った水基めぐりや紙すき体験、中岳火口見学などから、タイの高校生全員が熊本の自然のすばらしさを実感できている。さらに、交流体験の一つである熊本の高校生との環境問題に関する意見交換や江津湖での学習や、環境保全に取り組む工場見学をとおして、自国の環境問題について深く考えるなど、タイの高校生の環境問題に対する意識は十分高まったようである。

タイの高校生は、熊本県立阿蘇中央高校において生花体験をしたり、郷土料理を作ったり、草原プロジェクトの発表を聞いたり、乗馬体験をしたりした。その結果、タイの高校生の48%の生徒が日本の高校の様子を理解したり、日本の高校生と交流を深めたりすることができたと回答している。学校体験終了後、タイの高校生は日本の高校生の日頃の授業に参加して交流を深めたかったと言っていた。このような思いが、割合的に半数に満たないという結果に至ったものと推察できる。

文化体験の一環として阿蘇神社や熊本城を見学したり、熊本大学で墨絵体験をしたりしたことで、日本の歴史や文化に興味をもった生徒の割合は約67%だった。この結果は、熊本城内にいろいろな展示品があったにもかかわらず、見学時間が十分確保できなかったことが要因の一つと思われる。

タイの高校生の93%の生徒が自ら進んで日本語を話そうとしたり、日本語を理解しようとしており、日本語に対する意識の高さが伝わってきた。

文部科学省のアンケート結果を見ると、タイの高校生のほとんどが今回の体験を将来に役立てたいと考えていることが分かる。また、タイの高校生は帰国後さらに日本語の勉強を頑張ったり、日本の大学に留学したりするなど、将来の夢実現のための見通しをしっかりとっており、1人でも多くの生徒が日本とタイとの懸け橋になってくれることを願うばかりである。



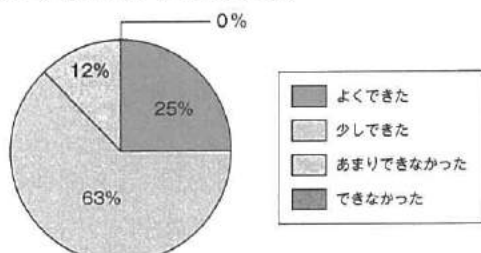
夜須高原青少年自然の家にて集合写真

## (2) 日本の高校生の意識の変容

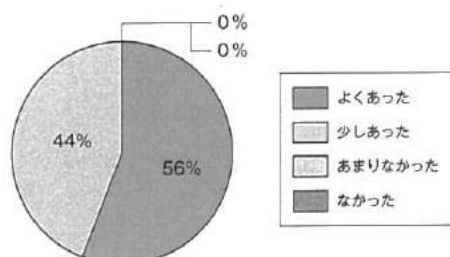
### ① 阿蘇オリジナルのアンケート結果

【熊本県立熊本高校の高校生15名（男2名 女13名）】

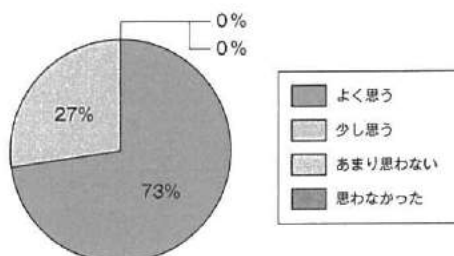
タイの高校生との環境問題に関する意見交換をとおして、自分の考え方を発表したり、タイ国の実情やタイの高校生の環境問題に対する考え方について理解を深めたりすることができましたか。



タイの高校生との交流活動をとおして、ふるさと熊本のよさを感じることがありましたか。



今回の交流体験をとおして、これからいろいろな国々の人々と積極的にかかわっていきたいと思いますか。



意見交換会

### 【交流活動に参加した高校生の感想】

- タイの高校生はみんな日本語が上手でとても驚いた。それに比べ、私たちは、英語もそれほど、すらすら話せないの、頑張りが必要だと思った。また、私たちが英語のみを勉強していると言ったら、驚かれたので、さすがエリートだと思った。また、タイのみんなは、とてもフレンドリーで、いろいろなことに興味をもっていて、たくさん質問をしてきたので、その積極性を見習いたいと思った。
- タイの高校生のコミュニケーション能力の高さが一番心に残りました。初めて会ったのに、途切れることなく会話を続けてくれてすごいいいと思いました。私は将来、海外で渡りあえるような人になりたいので、私もタイの高校生のようにならなければならないのだと思いました。
- 江津湖での意見交換会の時に、すべてを理解しようと話を聞いたり、メモをとっている姿を見て、すごいいいと思った。江津湖の水を触って、きれいだと驚いたのが意外だった。私たちは、普段、そんな水を改めて感動するわけではないが、タイの高校生からすると、湖や河川の水がとても触れられたものではないくらい汚いので、日本の水は余計きれいだと感じるのだろうと思った。それに、コミュニケーション能力の高さも感心した。日本語も上手で、将来世界で活躍できるような人だと思った。
- タイの高校生は、自国のことについてとてもよく知っていて、堂々といろいろなことを話してくれた。しかし、私は、例えば、日本の遊びは何と聞かれて、すぐに思い出せなかったり、「日本はどうですか。」と聞かれて答えられないことがあった。やはり、自分の国についてよく知っておくことは、異文化を知る以上に大切なことだと実感した。



② 文科省によるアンケート結果（記述式のみ）

【Q1】 将来、今回の交流体験をどのように生かしていきたいと思いますか。

- 外国の人とのコミュニケーションのしかたが少し分かった。だから、もっと交流して分かり合えるように活かしたい。
- 積極的に相手に話しかけたり、コミュニケーションを自らとろうとする姿勢がとても大事だと学んだので、次の交流で心がけたいです。
- 今回、交流ができて、実際にタイに行ってみたいと強く思いました。そして、今回あまりできなかった社会問題についても考えてみたい。
- これからも今回交流した人たちと連絡をとりあい、将来、国際的な何かをするときに協力したい。
- 将来、海外で働きたいので、今回学んだタイの方々のコミュニケーション能力の高さを見習っていききたい。

【Q2】 Q1について、将来に生かすには、具体的にどのような行動をとるべきだと考えますか。

- いろいろな国の文化や歴史など相手をしっかり理解する。
- 外国人に自分から積極的に声をかけてコミュニケーションをとる。
- 留学して、日本のことを海外の人に説明できるようになりたい。
- 日常生活の中で、自ら積極的に話しかけたり、一度交流した外国人との関わりを大事にしたい。
- Facebook やメールなどで交流し、それぞれの国について意見・情報交換を継続して行う。

【Q3】 その他自由記述

- タイの人といろいろな話ができてうれしかった。とても貴重な経験となりました。
- タイ人との交流は初めてでしたが、みんなとてもフレンドリーで、自分の国はもちろん日本が好きなんだと感じました。
- もともと、外国の方と交流したいと思っていたので、今回、このような会に参加させていただき、本当にうれしかった。楽しかった。

③ 考 察（日本の高校生）

日本の高校生がタイの社会の様子、タイの高校生の考え方を理解したり、お互いの文化や自然環境等に関心をもったりするために、今回の体験交流事業では、タイの高校生と江津湖での学習や環境問題に対する意見交換会を実施した。

アンケート結果（円グラフ）では、日本の高校生がタイの高校生との意見交換会をとおして、タイの実情やタイの高校生の環境問題に対する理解がとても深まったと回答している生徒の割合は、25%だった。この結果は、交流活動に参加した高校生の感想から分かるように、タイの高校生のコミュニケーション力の高さと積極性にやや圧倒されたことが要因の一つと思われる。しかし、「今回の交流体験をとおして、これからもいろいろな国々の人々と積極的にかかわっていききたいと思いますか。」という質問項目において、「よく思う」と回答した生徒の割合は73%であり、今回の交流が日本の高校生の次世代のリーダーとしての意識を高める上で効果があったと判断できる。なお、文部科学省のアンケート結果から、交流体験が国際的な視野を醸成する上で有効だったことが分かる。

## 5 成果と課題

### (1) 成 果

- ① 水基めぐり、中岳火口見学や大観峰などのジオサイト見学、紙すき体験など阿蘇の地域性を生かしたプログラムや、サントリー九州熊本工場など環境保全に取り組んでいる企業での学習といった環境を意識したプログラムを中核に据えたことにより、タイの高校生の環境問題に対する意識を高めるとともに、環境という観点から日本に対する理解増進を図ることにつながった。
- ② 昨年度の成果と課題を踏まえ、意見交換会の企画立案から実施に至るまで熊本高校のボランティアサークルの生徒に任せた。生徒の意見交換会に臨む意識が高まったのはもちろんのこと、日タイの高校生同士の意見交換会等において、時には英語を使ったり、絵を描いたりしながら、言葉の違いという大きな壁を乗り越えて意思疎通を図ろうとする姿が随所に見られた。このような気持ちこそが国際的な視野を広げるとともに、次世代のリーダーを養成することにつながっていくのではないかと考える。
- ③ タイの高校生を本施設と夜須高原青少年自然の家の2施設で受け入れたことにより、それぞれの活動の後に役割分担し、活動に応じてお礼の言葉を使う生徒を変えるなど、一人一人の活躍する場面が増えた。

### (2) 課 題

- ① 日本の高校生の自主性を発揮する場や活躍の場が多かったのはよかったが、タイ国の実情などを知るという点が不十分であった。日本の高校生の自主性を大切にしつつも、連絡調整を密にし、事業の趣旨からそれないように導いていく必要がある。
- ② プログラムを精選したが、学校行事や工場見学日など日程調整が難しく、移動日が増えてしまったため、一つの活動に対して十分な時間の確保ができなかった。プログラムを見直し、移動時間のロスを減らし、効率的な移動の工夫が必要である。